
プレスリリース

2020年9月8日（火）午前0時1分、ロンドン

投資家が貴金属に殺到し、プラチナ需要予測が上昇

- 2020年第2四半期の需要は前年比19%減、供給は同35%減
- 供給薄と堅調な投資需要のため、2020年度予測は10トン不足に修正
- 2020年3月19日の価格を底に、プラチナは金を大きく上回っている
- 水素経済により、長期価値を保全する貴金属としてプラチナの地位が上昇

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が前例のない規模で世界経済にマイナス影響を与えている中、2020年第2四半期においてプラチナに対する投資需要が高まりました。これはグローバル・リスクの高まりと、危機対応として打ち出された金融政策および財政政策により、プラチナを含む貴金属の訴求力が高まったことが原因です。

World Platinum Investment Council (WPIC) による『*Platinum Quarterly*』の最新版では2020年度予測を見直し、プラチナ市場の当初予測の年間8トン余剰は年間10トン不足に修正されました。2020年度のプラチナ供給量合計は、14%（36トン）減少し221トンと予測され、これには製錬生産における15%（29トン）減、およびリサイクル供給での12%（8トン）減が反映されています。

2020年度のプラチナ需要量合計は231トンと予測され、2019年度と比較して11%（29トン）減少しています。これは自動車（14トン減）、宝飾（9トン減）、工業（0.2トン減）、投資（6トン減）の主要4需要セグメントでの需要低下が原因です。投資需要は33トンと予測され、2019年度と比較して15%減少していますが、本年度の前回予測より14トン増加しています。実際、世界的なリスクの高まりが、ハードアセットに対する投資家需要をけん引し継続することが予想され、地金とコインの需要は113%増加して19トンになると予測されています。

WPICの『*Platinum Quarterly*』は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による危機のピーク時、すなわち歴史的に類を見ない時期となった四半期において、プラチナ市場が世界規模で受けた影響を詳細に示していると同時に、投資家の関心の高まりがプラチナの見通しを明るくしている兆候もあることも明らかにしている。

- 2020年第2四半期の供給量は、前年比35%減（23トン減）となり44トンでした。第2四半期には、南アフリカの大規模な製錬工程の停止と、新型コロナウイルス感染症による鉱山の封鎖のため、供給に大きな影響がありました。実際、南アフリカの鉱山は、3月26日から4月30日まで完全に封鎖され、広く再開したのは6月1日以降でした。2020年第2四半期におけるプラチナのリサイクル量も、新型コロナウイルス感染症に関連する物流の混乱に大きな影響を受け、19%（3トン）減少しました。
- 2020年第2四半期の需要は前年比19%（12トン）減少の50トンで、第1四半期の需要レベルからわずか2%（1トン）の低下となりました。2020年第2四半期の自動車へのプラチナ需要は48%（11トン）減少しました。これは、期初からの新型コロナウイルス感染症に関連する工場閉鎖のため、中国を除くすべての主要市場に

において、車両生産が制限されたことが理由です。パンデミックに関連する工場閉鎖、小売りにおける制限、および消費者の慎重な行動のため、宝飾品需要が 27%減少し、ガラスを除くすべての工業需要セグメントも縮小しました。ただし、世界的なリスクの高まりと、パンデミックが世界経済にもたらす影響を抑えるための政府による金融政策および財政政策が、プラチナを含む貴金属の需要を増加させました。これによりプラチナ ETF の正味流入は、第 1 四半期の正味流入 7 トン減とは対照的に、第 2 四半期には 4 トン増となりました。地金とコインの需要は第 2 四半期も継続して堅調で、投資家保有量は 4 トン増となりました。さらに、白金の NYMEX 保管庫への順調な流入は、当初は新型コロナウイルス感染症に関連する物流への制限が促したのですが、取引所が保有する在庫の変化を受け、第 2 四半期には需要につながりました。

環境問題における世界的に重大な変化の動きも、プラチナに対する投資家のセンチメントの変化に影響を及ぼしている可能性があります。プラチナの環境面および貴金属としての実績を大幅に向上させています。水素経済を促進するうえでの役割は、プラチナの長期価値保全としての確固たる地位を築くベースとなる。新型コロナウイルス感染症による経済的な影響が原因で気候変動に関する資金援助が激減していることに伴い、中国、日本、韓国、EU 諸国、アメリカ合衆国では、グリーンアジェンダを優れた費用効果で促進する「水素経済」を優先する動きが、ますます大きくなっています。EU は 2020 年 7 月 8 日、水素戦略を実施し、ヨーロッパ全域における工場、交通機関、発電、建物の脱炭素化で水素が果たす重要な役割が強調されました。水素を主要動力および交通機関の燃料として使用することは、未来の気候をより良いものにするために最も費用効果が高く持続可能な方法であることを認識する政府が増えるにつれ、水素経済の促進のために重要な触媒としてのプラチナの役割が知られるようになってきました。プラチナは、グリーンな水素の生成に重要なだけでなく、燃料電池電気自動車 (FCEV) の燃料電池にも使用されます。水素経済と FCEV 市場の成長とともに、プラチナに対する大規模な需要も生まれるでしょう。

セクターの回復の兆し

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、世界中の経済に前例のない影響を与え、全ての工業セクターがその影響を受けています。そのため、第 2 四半期にはプラチナ需給の世界的混乱が予想されました。一方、『Platinum Quarterly』では、プラチナ需要が驚くべく強靱に維持されている市場および市場セグメントがあることも明らかにしています。

- **宝飾—アメリカ合衆国で回復**：6 月に都市封鎖が緩和されたことにより、大規模な回復が始まり、アメリカ合衆国のプラチナ宝飾品の輸入量は、5 月の 5 倍を超える規模に増加しています。
- **自動車—中国で大型車が復活**：2020 年第 2 四半期に製造された大型車（総重量 6 トン超）の約 25%に中国 VI 準拠の排気制御システムが搭載されています。その結果、今四半期の中国自動車業界のプラチナ需要は 62%（1 トン）増加し、その他の自動車市場での減少をやや相殺しました。
- **化学薬品—健康用品と衛生用品で増加**：化学薬品全体で使用量が減少しているにも関わらず、新型コロナウイルス感染症に関連し、医療、健康、衛生、在宅ケア用品で使用されるシリコン製品において、プラチナ需要は堅調でした。
- **医療：インドと中国の製薬業界で増加**：中国での医療ポリシーの著しい改善およびインドでの高額健康保険の増加のため、両国における原薬 (API) の生産量が大幅に増加しました。2020 年上半期には、インドで製薬業でのプラチナ需要が前年度比

で増加し、中国では、国内の製薬会社は API の販売が 10~20%増加したと報告されています。

- **ガラス-在宅勤務サポート需要**：2020 年第 2 四半期には、ガラスでの需要が前年度の 2 トンと比較して 15% (0.3 トン) 増加し、3 トンとなりました。この増加の一部は、在宅勤務の増加によりモニタやノートパソコンのパネルへの需要が増加したためです。

World Platinum Investment Council の CEO、ポール・ウィルソンのコメントは次の通りです。「プラチナ市場の需給は、パンデミックの影響を受け前年比で著しく減少しました。しかし、パンデミックとは無関係の供給上の問題や、実物投資需要としての性質もあり、プラチナの市場バランスがパンデミックから受ける潜在的影響の深刻度は、予想よりもはるかに低いものです。プラチナの需給バランスの予測は、今年度は余剰から 10 トンの不足に修正されました。初期のロックダウン（都市封鎖）措置が緩和されるタイミングと規模、新型コロナウイルス感染症の第 2 波が発生する可能性とその影響、有効なワクチン開発の進捗、そしてパンデミックを受けて各国政府が行う経済政策の長期的な影響に応じて修正される見込みです。

2020 年 3 月 19 日にプラチナと金の価格が低下し、それぞれ 1 オンス\$599 と\$1,474 となって以来、プラチナのパフォーマンスは金を大幅に上回り、8 月末までに金の価格が 33%上昇したのに対し、プラチナでは 55% の上昇となりました。危機を経験している時期には、このようなことが起こり得ます。世界金融危機を受けて 2008 年後半に 2 年連続の低価格を記録した際も、プラチナの週次の戻り値は金を 30~65%上回っていました。投資需要とプラチナのファンダメンタルズの展望が明るくなるのにつれ、2020 年のプラチナの見通しは著しく高まると思われる」

プラチナ需給バランス (トン)	2017	2018	2019	2020年予測	2020年予測/ 2019年成長率	2019年第2四半期	2020年第1四半期	2020年第2四半期
供給量								
精鉱生産量	191	191	190	161	-15%	52	39	30
南アフリカ	136	139	137	109	-20%	38	26	17
ジンバブエ	15	14	14	14	-1%	4	4	4
北米	11	11	11	12	4%	3	3	3
ロシア	22	21	22	20	-9%	6	5	5
その他	6	6	5	5	4%	1	1	1
生産者在庫の増加 (-)/減少 (+)	+1	+0	+0	+1	>±300%	-1	+1	+1
鉱山からの供給量合計	191	191	190	161	-15%	51	40	31
リサイクル	59	60	67	60	-12%	16	15	13
自動車触媒	41	44	51	46	-10%	12	13	10
宝飾	17	16	15	12	-19%	4	2	3
工業	0	0	2	2	-3%	0	0	0
供給量合計	250	251	257	221	-14%	67	55	44
需要量								
自動車	103	96	90	76	-16%	23	21	12
自動車触媒	99	92	90	76	-16%	23	21	12
ノンロード	4	5	†	†	†	†	†	†
宝飾	77	70	65	56	-14%	17	12	12
工業	52	60	67	66	0%	18	16	13
化学	18	18	22	18	-14%	6	5	4
石油	3	7	7	4	-44%	2	1	1
電気	7	6	4	4	-6%	1	1	1
ガラス	6	8	8	17	108%	2	3	3
医療	7	7	8	8	0%	2	2	2
その他	12	13	18	15	-14%	4	4	3
投資	9	0	39	33	-15%	4	2	12
地金・コインの変化	7	9	9	19	113%	3	10	4
ETF保有量の変化	3	-8	31	5	-84%	2	-7	4
取引所が保有する在庫の変化	-1	-1	-1	9	該当なし	0	-1	4
需要量合計	241	226	261	231	-11%	62	51	50
残高	10	25	-4	-10	該当なし	5	4	-6
地上在庫	74	99	110**	99	-10%			

出典：Metals Focus 2019 – 2020, SFA (Oxford) 2017 – 2018

注：

1. ** 2018年12月31日時点の地上在庫は3,650 koz (114トン) (Metals Focus)
2. † ノンロード自動車における需要は自動触媒需要に含まれる
3. Metals Focus および SFA (オックスフォード) からのデータは、同様または同程度の基準に基づいて作成されていない可能性がある
4. 2019年以前のSFAのデータは、それぞれ5 koz単位に四捨五入されている

メディア関連のご要望は、エレファントコミュニケーションズにお問い合わせください。

ガイ・ベラミー／ジム・フォレット／ジェマイマ・ウッズ

wpic@elephantcommunications.co.uk

編集者への注記：

『Platinum Quarterly』について

『Platinum Quarterly』は、世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される業界初のレポートです。『Platinum Quarterly』は、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの刊行物です。これは主に、2019年以降はプラチナグループの金属市場での独立機関であるMetals Focusに委託され実施された調査と詳細な分析に基づいています。

World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) について

World Platinum Investment Council Ltd. (WPIC) は、プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する、投資者の方々の強いご要望を受け

て設立されました。WPIC の使命は、実用に役立つ見識と目標を定めた商品開発を通じて、プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者により 2014 年に創設されました。WPIC の加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカン・プラチナ)、Impala Platinum (インパラ・プラチナム)、Northam Platinum (ノーザム・プラチナ)、Royal Bafokeng Platinum (ロイヤル・バフォケン・プラチナ) です。

詳細については、こちらをご覧ください：www.platinuminvestment.com

WPIC 事務局住所：World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

Metals Focus について

Metals Focus は、世界をリードする貴金属コンサルタント会社です。同社は世界の金、銀、プラチナ、パラジウム市場の調査を専門とし、定期的なレポート、予測、カスタマイズされたコンサルティングを行っています。Metals Focus チームは 8 か所の管轄区域を拠点とし、世界中で広範な関係を構築しています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに尽力しています。

詳細については、こちらをご参照ください：www.metalsfocus.com

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の品質を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去 5 年間の年間プラチナ総供給量（精製済みオンス）の 76%~78%は、鉱山で生産されたものです。世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の 4 大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒からのプラチナ需要は、過去 5 年間の合計需要の 36%から 43%に相当します。その他の工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の 23%となっています（過去 5 年間の平均）。同じく過去 5 年間の宝飾品におけるプラチナ需要は、年間平均でプラチナ総需要の 31%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も小さいカテゴリーであると同時に、過去 5 年間で最も変化が大きく、総需要の 0%から 15%を占めています（未公開の地上在庫の増減を除く）。

免責事項

World Platinum Investment Council、Metals Focus のいずれも、規制当局から投資アドバイスを行う許可を受けていません。この文書のいかなる部分も、投資アドバイス、または証券もしくは金融商品の売買を意図するものではなく、またそのように解釈されるべきではありません。投資を行う前には必ず適切な専門家のアドバイスを求めてください。詳細については、こちらをご覧ください：www.platinuminvestment.com

-ENDS-